

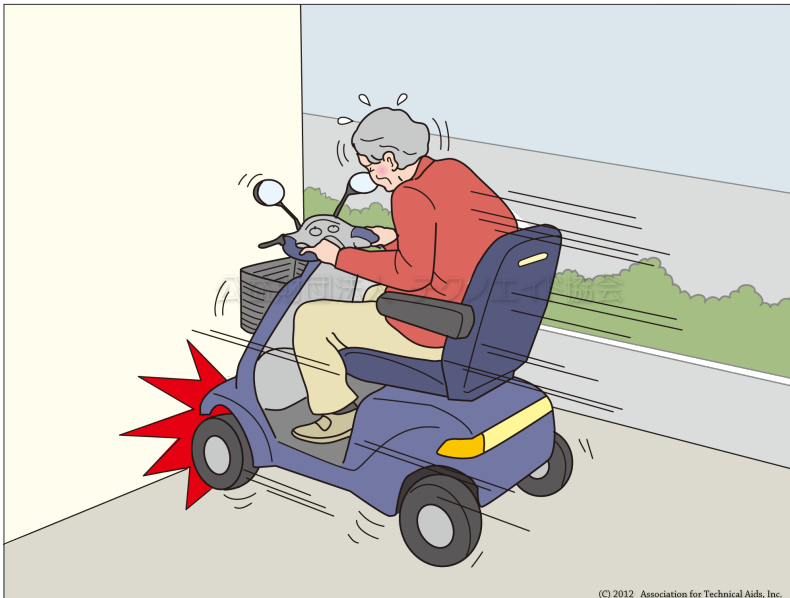
福祉用具ヒヤリハット情報

Case : 168

ブレーキのつもりでアクセルレバーを押してしまい、壁に激突してケガをしそうになる

場面の説明

操作に慣れておらず、ブレーキのつもりでアクセルレバーを強く握ってしまい、壁にぶつかりそうになった



利用シーン

移動
外出

主な利用場所

その他

介護保険の種目

車いす

分類コード(CCTA95)

122124(電動三輪車・電動四輪車)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

ハンドル形の電動車いすは、手動で動かす時のためにブレーキが装備されていますが、電動での運転中はアクセルレバーから手を離すだけで停止するため、ブレーキの操作をする必要はありません。しかし、緊急時にあわててしまい、ブレーキと誤ってアクセルレバーを強く握りしめてしまうことが原因となる事故が発生しています。緊急時にもあわてず正しい操作ができるよう、常に落ち着いてゆっくりと操作することが安全の第一歩です。

参考要因

- 人：身体が勝手に反応して、とっさに握ってしまった
- モノ：慌てた時にとっさに握りやすい位置にアクセルレバーが付いていた
- モノ：アクセルレバーとブレーキレバーの区別の表示が判別しにくかった